

キラットさん

BE AMBITIOUS

大館鳳鳴高校 3年

貝森美央さん

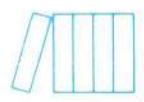


今回のキラットさんは、トランポリンの競技歴十年、数々の大きな競技会で素晴らしい成績を挙げた貝森さんです。

小学二年生だった彼女は、最初はレクリエーションとしてトランポリンを始めたのですが、先生の勧めもあり、競技向けに転向したそうです。それから、めきめきと力をつけ、中学二年生のとき、アメリカで開かれたインド・パシフィック大会に出場。十三、十四歳の部で個人十八位と健闘しました。今年七月二十、二十一日に行われた東北大会では「三連覇がかかっていましたよ。でも、試合前の練習でケガをしてしまって、三位でした」と悔しそうでした。

「おしとやかな印象の貝森さんの性格は、度胸がなく、何をすることも時間がかかるタイプです」ということですが、トランポリンに関しては、その性格は当たらないのかもしれない。貝森さんにトランポリンの魅力を聞きましたら「宙返りなど、地上でできないことが空中ではできることです」。そして、他方では、「七、八メートルの高さの恐怖を乗り越えなければいけません。それに、少しでも気を抜くと大げがにつながります」と難しさも語ってくれました。貝森さんは進学を志望していますが、残念ながら、高校で競技生活からは引退する予定です。進学生後は、将来指導者となるためにみがきをかけ、トレーニングジムなどの環境の整ったところで指導にあたりたいそうです。

八月八日から十日まで全国高校選手権大会が大館樹海ドームで開催されました。規定で十二位と出遅れましたが、自由演技では、得意技のルデュー（前方一回宙返り一回半ひねり）を決め、自分でも「今までで一番のでき」という納得の演技で見事決勝に進みました。決勝でも優雅で力強い演技で七位入賞を果たしました。「地元ということは、プレッシャーでしたが、顔見知りのかたが来てくれ、また、観客の声援や拍手も一段と大きかったので、励みになりました」と競技を終え、ホッとした様子。そして、たくさんの人から祝福を受けて、満面の笑顔でした。



私の本棚

中央図書館新着図書



『旅するサイコセラピスト』

ロバート・U・アカレット著
早川書房

自分が治療した患者たちは、その後どんな人生を送っているのか。セラピストは本当に成功したのだろうか。著名な精神療法医が、不思議なくせを持つていたかつての患者たちとの再会を心温まる細やかな筆致で綴った心理エッセイ。

一般書

- ◇明日なき者たち(生島治郎) ◇チヨコレート革命(俵万智) ◇死後の世界へ(M・スコット・ベック) ◇卑弥呼(久世光彦) 評伝イサム・ノグチ(ドーレ・アシュトン) ◇そは何者(東郷隆) ◇風の群像上、下(杉本苑子) ◇嗤う伊右衛門(京極夏彦) ◇宵の夢(竹田真砂子) ◇皇女の霊柩(内田康夫) ◇ももこの世界あっちこちめぐり(さくらももこ) ◇ラッキーで行こう(柴門ふみ) ◇棟居刑事の凶存凶栄(森村誠一) ◇みち草(大岡信) ◇蛮骨の剣(鳥羽亮) ◇2万5千年の夜明け(マーク・カンター) ◇夜(トーマス・ヘッチェ) ◇いちぢらず一本道いちぢらず一ツ事(相田みつを) ◇幸福の里(佐藤愛子) ◇幸福らしきもの(原田宗典) ◇コンピューター技術者になるには(宍戸周夫) ◇強運な女になる(林真理子) ◇村上春樹、河合隼雄に会いに行く(河合隼雄) ◇まだ遠い春阪神大震災3年目の報告(阪神大震災を記録しつづける会) ◇こうのとりを放つ日(みどりゆうこ) ◇欲望(小池真理子) ◇月の家族(島尾伸三) ◇幸福の里(佐藤愛子) ほか

児童書

- ◇ひゅーどろのおてつだい(山脇恭) ◇ぞうむしくんがんばる(かみやしん) ◇はやくおおきくなりたい(こやま峰子) ◇くさのなかのおひめさま(ルウエーのむかしばなし) (アスピヨルンセン他再話) ◇スタートライン(あびるとしこ) ほか

21日、23日、25日

中央図書館の休館日・・・9月1日～12日(虫干しのため)